

隨想リレー



角盤山読書会

田中祐輔

東京鳥取県人会幹事

仕事仲間が「ブッショ」の本を持つ人、ペラペラめかくつて読んだつもりになつた。大統領に初当選したとき夫人がインタビューを受けた。【あなたの愛読書は】と聞かれ「カフマーゾフの兄弟」とみきろうと誓い合い、近くの合つた。

2年後に「1回目は夢中で読み切り何だかよく解らなかつたからもう一度読もう」との提案があり実行した。2度目は非常に興味深く味わい

読みきることが出来た。「静かなドン」だけはあまりのボリュームに完読者は2人だけだったが、残りは一読の価値ありと読み続けることを申し合わせた。

こんな難しい本を読まなくてもの世には行けると何度思ったことか。でもこれを読まずに人生を終わるもの残念だ。

新春だから、景気のいい話をしてみたいと思います。どんな組織でも数字の持つ意味は大きいのですが、わが県人会は昨年1年間で実に90人を超える新入会員を迎えていました。この数字はこれまでにない増加で、このところ停滞

した。その後は毎月集まり、私が行程表を作り各人の進捗状況を見て叱咤激励し、3ヶ月後には月貢読了したので、銀江抽選など次々と難解書

を読もうと呼びかけて集まつたのが5人、学生時代に買ったのが5人、現在会員は8名となつた。

▼出前講座風景



—5年で45講座4,500人が受講会員増強にも威力—

大阪鳥取県人会が鳥取県

大阪事務所との共催で始

「鳥取学出前講座」が早く

も5年目を過ぎ、開催講座数

が実際に45講座に達した。そ

の間の受講者総数は延べ約

4,500人。昨年11月には

片山知事の特別講座「地方か

ら国を変える」島取県の挑

戦」も実現し、さらなる充実

を遂げようとしている。一休

この成功の秘密はどこにあ

るのか—全国各地にネット

ワークを広げる「我らが同胞

県人会」紹介シリーズの第1

弾として大阪鳥取県人会にス

ポットライトを当てた。

平成14年7月26日、鳥取県

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

奏功し、150人程度だった

会員数が今では340人に倍

増した。会報も県会報から

増強にも大いに役立った。

平成14年7月26日、鳥取県

教育委員会妻木早田・青谷上

寺遺跡整備室の久保穂一

郎氏による「青谷上寺地遺跡

が語りかけるもの」だった。

由だった。

その自論見はものの見事に

